あとがき

本書は、はじめにで述べたように、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）研究開発戦略センター（CRDS）の業務の一環としてとりまとめたものである。技術評価のベースとなったのは、JST の CRDS が 2011 年、2013 年、2015 年の 3 回にわたって実施した、「G-Tec 報告書・世界の宇宙技術力比較」である。本書では、これらの報告書のうち 2015 年末までの各国・地域の宇宙開発活動を調査した結果をとりまとめた 2015 年度版を中心に記述した。

本書の執筆にあたり、「世界の宇宙技術力比較調査研究会」の委員長を務めた青江茂元文部科学省宇宙開発委員会委員長代理、委員長代理を務めた小澤秀司元宇宙航空研究開発機構理事に貴重なご意見とご示唆をいただいた。また、同委員会の事務局を筆者と一緒に務めた辻野照久氏にもご意見をいただくとともに、2015 年以降の各国の宇宙開発データの提供をいただいた。

本書に用いた図の一部を、本書の執筆当時 CRDS に所属していた山田陽子氏に作成をお願いした。これらの方々に、深く感謝したい。

参考文献等

・G-TeC 報告書　世界の宇宙技術力比較（2015 年度）　2016 年　JST/CRDS
・G-TeC 報告書　世界の宇宙技術力比較（2013 年度）　2014 年　JST/CRDS
・G-TeC 報告書　世界の宇宙技術力比較（2011 年度）　2011 年　JST/CRDS
・JBTV 株式会社の HP（http://www.jbtv.co.jp/）
・みちびきの HP（http://qzss.go.jp/）
・気象衛星センターの HP（http://www.data.jma.go.jp/）
・宇宙切手の展示室の HP（http://www.spacephila.jp/）
・武部俊一『宇宙開発 50 年』2007 年　朝日新聞社
・寺門和夫『中国、「宇宙強国」への野望』2017 年　株式会社ウェッジ
・林幸秀『科学技術大国中国』2013 年　中央公論新社
・林幸秀『北京大学と清華大学』2014 年　丸善プラネット社
・林幸秀『中国科学院』2017 年　丸善プラネット社

その他、web サイト、中国語版の百度（Baidu）および日本語版ウィキペディア（Wikipedea）を参考とした。

著者紹介

林　幸秀（はやし　ゆきひで）

国立研究開発法人科学技術振興機構研究開発戦略センター・上席フェロー（海外動向ユニット所属）。

1973 年東京大学大学院工学系研究科修士課程原子力工学専攻卒。文部科学省科学技術・学術政策局長、内閣府政策統括官（科学技術政策担当）、文部科学審議官、宇宙航空研究開発機構（JAXA）副理事長などを経て、2010 年より現職。2017 年より公益財団法人ライフサイエンス振興財団理事長を兼務。

著書に『科学技術大国中国～有人宇宙飛行から、原子力、iPS 細胞まで』、『北京大学と清華大学～歴史、現況、学生生活、優れた点と課題』、『中国科学院～世界最大の科学技術機関の全容、優れた点と課題』など。